

JAMES PEARCE

BBC Sports News and Olympics Correspondent

LONDON
SPEAKER
BUREAU



Topics

- Facilitators

James Pearceは、2012年のロンドンでのBBCオリンピック特派員で、2001年の入札プロセスの開始からあらゆる段階をカバーしています。その役割に加えて、彼はSports News CorrespondentでもありBBC本部の世界最大のスポーツイベントからの報告です。過去20年間のテレビニュース速報。

受賞歴のある特派員、ジェームズは世界で最高の仕事の1つを持つことを自由に認めています。あなたはそれを名前、彼はそれから報告されています。4つのワールドカップ、4つの夏季オリンピック、3つの冬季オリンピック、3つのヨーロッパサッカー選手権大会、3つのコモンウェルスゲームが、非常に長いリストのほんの始まりにすぎません。さらに、スポーツに関する報道で世界を旅するために支払われただけでは十分ではなかった場合、彼はまた、2001年から2008年までずっと大会の中心で働いている、ロンドン2012のBBCオリンピック特派員であるという特権を持っていました忘れられない2012年の夏。

彼がすでに彼のキャリアにそれほど多く詰め込んでいる誰かにとって若く見えるならば、それは彼が若くして始まったからです。実際には、ちょうど23歳で彼はBBC Oneの主力シックスオ'clockニュースの史上最年少の定期的な記者となりました。それ以来、彼は息を止めることはほとんどなくBBCの最も有名なニュース番組すべてに取り組んでいました。典型的な一日は、Radio 4のToday番組への出演で始まりJeremy PaxmanがNewsnightで彼を焼き尽くすまで終わらないかもしれません。

BBCのスポーツ特派員として働くには、十分な汎用性が必要です。彼のキャリアの間にジェームズはアイントホーフェンでの生放送の間にフットボールのファンによって彼の至る所でビールを注がれました、ソウルの2002年ワールドカップ準決勝の前に大勢の人々の騒音の上で話さなければなりませんでした。テレビでのカーリングの実演中に氷の上で転倒した後は裏側に戻りますが、それでも英国で最も優れたスポーツジャーナリストの一人としての評判を与えてきた素晴らしいジャーナリズムを続けます。

新しいWembleyスタジアムのオープンが建設プロジェクトの問題のために1年以上遅らせる必要があるという話を破ったのはJamesでした。2018年のワールドカップのためのイングランドの入札チームが彼らの妻のために贅沢なハンドバッグの贈り物でFIFAの有権者を奮い立たせたというジェームズの啓示は、知名度の高い辞任をもたらしました。そして国際オリンピック委員会は、ジェームズがスポンサーのチケットが違法に利益のために売られていることを発見した2012年ロンドンの数ヶ月前に調査を開始しなければなりませんでした。

ロンドン2012年は、間違いなくJames'careerのハイライトでした。それは彼にとって11年の旅の頂点でした。オリンピック特派員として、彼は入札開始直後からロンドン2012年のBBCのニュース報道の大部分を率いた。2005年にロンドンが主催者として選ばれたとき、彼はSue Barkerと並んでシンガポールでBBCのセットで放送していました。2012年に彼は大会のハイライトの多くのためにリングサイドシートを持っていました。毎晩、彼の報告はBBCのすべてのテレビ速報の主要記事でした。彼はモ・ファラ、サー・クリス・ホイ、そしてジェス・

エニスのようなアスリートの偉業を世界に説明しました。

仕事から離れて、ジェームズのフットボールの忠誠心はAldershot Townにあります - 彼は若い頃から彼の地元のクラブに忠実に滞在しています。彼はいつの日か彼がウェンブリーでデビューする彼のチームについて報告できるようになることを夢見ています。そのスタジアムは彼の最も誇り高い放送の瞬間の1つを主催しました。彼は新しい会場で最初のゴールを決めた。彼は当時ビルダーのヘルメットとウェリントンのブーツを着ていましたが、2ヤードからネットの裏側を見つけることができました。ジェームズはあなたのイベントの主催者、会議進行役、会長として素晴らしい選択をし、夕食後の講演者として彼のキャリアの多くの逸話を共有することができます。